



KOGANEI

小形精密レギュレータ

P R 1 0 0

取 扱 説 明 書



取扱い要領と注意事項



取付・配管

1. 精密レギュレータを単体で取り付ける場合は、ブラケット(オプション)を使用してください。また、リングナットを使用してパネルマウントすることもできます。パネルなどに取付ける場合の取付穴はφ24.5です。
2. 精密レギュレータへの配管は、空気源側をINポートに、アクチュエータ側がOUTポートとなるように配管してください。



ブラケット
(オプション)



1. INポート、OUTポートを逆に配管しての使用はできません。
2. ブリード穴をふさぐような取付けは避けてください。ブリード穴がふさがれると調圧ができなくなります。



調圧

1. 調圧はハンドルを確実に引き出した状態で行ない、右回転(時計回り)させると増圧し、左回転(反時計回り)させると減圧します。調圧後は、ハンドルを本体側に押し込んでロックします。



1. 精密レギュレータはブリードタイプのため、2次側が調圧された状態では、常時ブリード穴から少量のエアがブリードされますが、異常ではありません。
2. ブリード量は弊社工場出荷時に調整済みとなっておりますので、プラグを緩めたり等は絶対に行なわないでください。



2. 精密レギュレータの1次側にバルブを設置し、1次側圧力を繰り返し切り替えるような使い方は避けてください。



一般注意事項

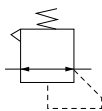
1. 配管する前に、必ず配管内のフラッシング(圧縮空気の吹き流し)を十分に行なってください。配管作業中に発生した切屑やシールテープ、錆などが混入すると、空気漏れなどの作動不良の原因となります。
2. 使用流体は空気を使用し、それ以外の流体の場合は、最寄りの弊社営業所へご相談ください。小形精密レギュレータに使用される空気は、劣化したコンプレッサ油などを含まない、清浄な空気を使用してください。減圧弁の前にフィルタ(ろ過度5μm以下)を取り付けて、ドレンやゴミを取り除いてください。また、エアフィルタのドレン抜きは定期的に行なってください。ドレンやゴミなどが小形精密レギュレータに入ると作業不良の原因となります。
3. 流体および雰囲気中に下記のような物質が含まれているときは、使用できません。有機溶剤・リン酸エステル系作動油・亜硫酸ガス・塩素ガス・酸類。
4. 水滴、油滴などがかかる場所や、粉塵が多い場所で使用するときは、カバーなどで保護してください。

小形精密レギュレータ

PR100



表示記号

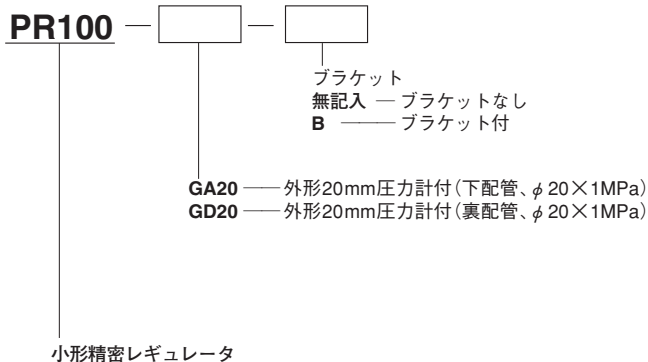


仕様

項目	形式	PR100
使用流体		空気
配管接続口径	Rc	1/8
感度	MPa	0.001
圧力設定範囲	MPa	0.02~0.5
最高使用圧力	MPa	0.93
保証耐圧力	MPa	1.5
使用温度範囲(雰囲気および使用流体)	℃	5~60
空気消費量 ^注	ℓ/min (ANR)	1.5
給油		不要
質量	kg	0.07
材質		アルミ

注：2次側空気圧力0.5MPa時の値です。

注文記号



注：オプション設定されている圧力計はJIS 3級です。
より精密な調圧が必要な場合は、JIS1.5級程度の圧力計を使用してください。
圧力計の仕様、寸法については120ページをご覧ください。

オプション

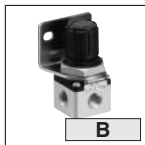
外形20mm圧力計付



●下配管

●裏配管

ブラケット付

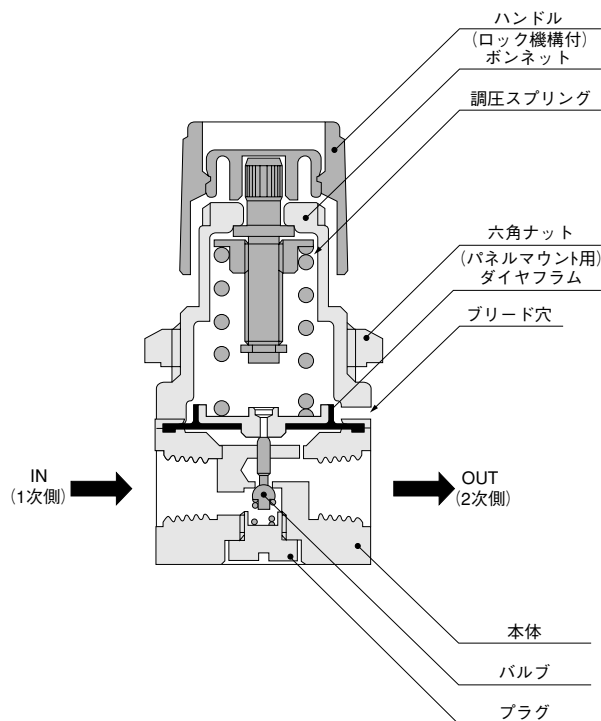


B

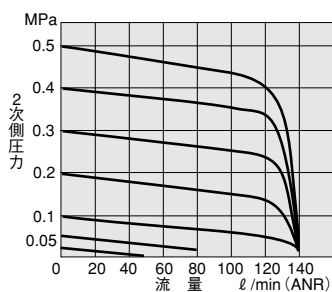
ブラケット

●8-10Z

内部構造



流量特性



備考：グラフは一次側圧力が0.7MPa一定時での流量特性です。

圧力特性

